

# 新潟県

# 公民館月報



雪が降ろうが  
降るまいが

降るまいが

雪が降ろうが降るまいが  
世の中の  
けいきがよかろうが  
わるかろうが  
代議士がわるかろうが  
よかろうが  
大臣が代ろうが  
代わるまいが  
世の中の人が死のうが  
生まれようが  
ここに据えられたおれは  
全身で  
この屋根を  
支えてきた

昭和51年11月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市一番堀通町・県教育庁社会教育課内】  
【電話・(新潟) ☎ 6111 内線 326】【振替新潟  
4094】

発行人 会長 石井耕一  
編集人 事務局次 本田 清

【定価1部 70円 年価 840円】

# 義務設置打ち出す

## 関公連(山梨)大会終わる

県大会の直前に行なわれた関公連大会、多忙のなかにも柏崎市の徳間氏は発表、県公連の本田事務局長は司会などに一役買った。

さる九月七、八日の両日、第十生活文化を高める事業部会、地城七回関東甲信越静公民館大会が山の連携を強める部会の五分科会に梨原石和町、石和観光温泉ホテル分かれ活発な討議に加わった。で開催された。参加者は十一都県、まず第一日は恒例の開会行事の約四百余名。本県からは石井会長、あと「公民館あれこれ」を題し「複以下八名が参加、それぞれ行政改、合施設の通行について、柏崎市徳制度部会、施設・職員の充実部、間助夫氏、「公民館におけるボランティア生活」根子理事部会、ンティア首座らについて、廣沢市新



〔複合施設の運営について発表する柏崎市中央公民館事務局長徳間助夫氏、右から二人目〕

井信行氏「グループ・サービスの育成と公民館」習志野市中村亨子氏の三氏による特色ある公民館の事例発表が行なわれた。五分科会に分かれて午後から行なわれた四時間わたる討議では、地域差、参加者の意識差などから疑問がきめにくいという問題もあったが、それぞれ司会者、助言者の活躍で成果をあげた。夕食は全参加者が各ブロックごとに一堂に会しての懇親パーティとなり、恒例のお国自慢の余興がくりひろげられた。

### 大会決議

関東甲信越静公民館連絡協議会は、第17回公民館大会を山梨県において開催し「住民の要望にこたえる公民館の施設や事業をどうすすめるか」について研究討議を行った。

この討議のなかで、昭和50年代の公民館活動の今日的役割りをみつけ、人と人との心のつながりと生きがいを見出し、生き生きとした社会をつくるため公民館の役割りはますます大なるものがあることを再確認した。

しかし、公民館をとりまく現状はきびしく、緊急に解決を迫られている課題が山積している。

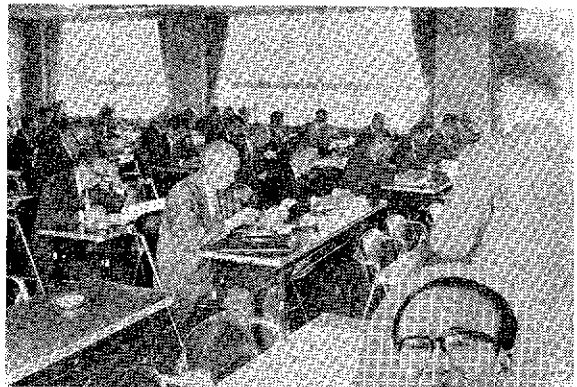
これらの課題解決に向けて、われわれ自らがその推進に努めることを誓うとともに関係当局に対し、特に緊急かつ重要な次の事項を速やかに実現するよう強く要望し決議する。

1. 社会教育法を改正し、公民館を市町村の義務設置とすること。
2. 公民館職員の身分資格を法的に明確にするとともに常勤専任の公民館職員の必置及び待遇改善を図ること。
3. 公民館施設費国庫補助の定率化と補助予算額の大幅増額を図ること。
4. 地方交付税における公民館単位費用の算定基準を改善し、その大幅増額を図ること。

昭和51年9月8日

第17回関東甲信越静公民館大会

第三日は、「住民の要望にこたえる公民館の施設、事業はどうか」をテーマとするシンポジウム。



〔上村県社教主事の問題提起を聞きとる各館長、顔写真は安達清氏〕

は新潟市中央公民館を訪問、実際の施設の活動状況を精力的に見学した。

二三日、「公民館をめぐる三つの風潮」と題した教育評論家安達清氏(山形市)の講演を熱心に聞き終り閉会した。

安達氏の講演は「フイローゼ・人間性喪失の時代」をもちろした術影には、組織化と多量、主体制がなくなり、機械化・虚構化、異化を失う。高遠化とあせり、自己中心、というよきなメカニズムがある。

### 館長さんの勉強会

#### 映画・現場見学・講義に打ち込む

このように質がかわらない人間が求めている時代こそ、相互教育の必要があるとし、この絶叫のひとりの単位としていじめのミニミニティを考えた。そのなかで自分自身もされていく教育利用が、地域住民のしあわせに通じるものでありたい。

「魅力ある事業をすすめるために、公民館運営委員会(会費)を活用するために、公民館長は何をなすべきか。」をテーマとして、さる十月二十六、七日の両日県教委主催による県公民館長研修会が開かれた。会場の新潟市内の土肥改良会館には土中、越地区から五十余名の公民館長が顔ぶれ多岐にわたる。目的、具体をたらしめ、第一日は新井市中央、三条市中央、神林村公民館長による事例発表、分散会館専任館長、兼任館長、非専任館長それぞれの具体例を話し、耳を傾けさせる内容であった。

# 県公民館大会コーナー

## 開催地レポート

第二十七回県公民館大会は、県内公民館関係者の協力により無事終了することができた。明年度、本県ではじめて開かれる全国大会をふまえての県大会ということで、従来の大会にはなかった新しい試みが行われ、皆さんに大変ご迷惑をおかけした。

特に申込期限後の参加申込みについては、従来の安易さをこの大会でぜひ一掃して、全国大

会開催地地元としてのよい伝統を打ちたてようということでお断りしたが、地元事務局としては情においてはしのびない辛いことであった。「全国大会を契機に、よい伝統を」という大会事務局の切実な願いをお察しいただきご諒解願いたい。

本大会での新しい試みのひとつとして、大会の評価表を各市町村から一部宛お寄せいただいた。

以上、本大会の参加状況とあわせて大会評価表の集計結果について報告したい。

イ、月報を利用したこと、特別号を出したところがあった。(一〇)

ウ、関心や意欲を高め、大会気分の高まりに役立った。(八)

ア、月報のレポートと大会へのステップがよく調和していた。(六)

2、大会案内での紙上商標掲載について。

イ、月報を利用したこと、特別号を出したところがあった。(一〇)

ウ、関心や意欲を高め、大会気分の高まりに役立った。(八)

ア、月報のレポートと大会へのステップがよく調和していた。(六)

2、大会案内での紙上商標掲載について。

ア、分科会の討議を充実させた。(五)

5、大会資料の内容について。(一八)

立派な資料でしたが、文字が小さく見にくかった。(刈羽村)

1、資料の活用について。(大会終了後)

ア、今後の活動の参考資料として使える。(一五)

イ、次の県大会、全国大会の参考として役立つ。(六)

2、討議内容の価値について。(一)

イ、問題点は浮きぼりにされたが解決には困難が予想され、今後の努力を痛感した。(一五)

ウ、討議の方向が明確でなかった。(八)

# ◎◎県大会の評価は良◎◎

## 困難な主題を能率に消化

参加状況

(1) 参加市町村  
本大会に参加された市町村は、二市、二十五町、十九村、合計六十四市町村で、県下総市町村数百十二

人(七・二%)であった。館内での参加者は、上越六三・六%、中越七三・〇%、下越四三・四%であり、市町村別では、市(一〇〇・〇%、町四七・二%、村四七・八%であった。

評価表の集計結果

集計の結果については、スペースの都合もあるので、回答の多かったものについて記し(末尾の数字は回答数)、感想については、(○)きわめてよかった、(△)よかった、(×)批判的であったもの(の三つ)に大別した。

1、研修会的な性格を持たせたい。(二五)

2、大会は研修主体であるべきだ。(一七)

イ、活動の水準を高め、範囲を広げる時期だ。(六)

2、コミュニケーションを主眼に取り上げたことについて。

イ、公民館はコミュニケーションがかなり重要で、コミュニケーションづくりは急務だ。(八)

ウ、コミュニケーションは、今後の公民館活動を活発にする。(六)

ア、時宜を得た適切な主題であった。(一五)

3、一口大方式をとったことについて。

イ、内容不十分、時間不足で一日を程は無理だ。(一〇)

ウ、事前研修を取り入れたら、研修重点の運営で内容がすっきりした。(八)

4、三分科会構成について。

(一三)

△(一三)、△(一三)、×(一)

1、開催式、表彰式の運営について。

ウ、計画的に意図したものであったが現場では余り利用されなかった。(一一)

ア、事前研修資料として問題がはつきりし、討議に役立った。(九)

3、申込み責任者による受付業務について。(一四)

△(一四)、△(八)、×(三)

4、市町村の協賛率をもとにした分科会討議について。(六)

オ、その他(八)

1、開催式、表彰式の運営について。

ア、今後の大会運営の参考となり、新しい試みとして大変よかった。(枚村)

2、参加費等を事前送付したことによって、責任ある申し込み、参加を、よかった。(長岡市)

3、参加費の事前送付に公費支出しにくい面がある。(大島村)

(大会当日 9月24日)

1、開催式、表彰式の運営について。

ア、今後の活動の参考資料として使える。(一五)

イ、次の県大会、全国大会の参考として役立つ。(六)

2、討議内容の価値について。(一)

イ、問題点は浮きぼりにされたが解決には困難が予想され、今後の努力を痛感した。(一五)

ウ、討議の方向が明確でなかった。(八)

3、討議事項の処理について。(一)

イ、要項事項の処理は困難だが、広く長期にわたって運動を展開すべきだ。(一五)

ア、要求事項が明確になったのでその処理は速かに努力を進めるべきだ。(八)

4、大会の評価を組み合わせることについて。(一六)

△(一六)、△(九)、×(〇)

1、開催式、表彰式の運営について。

(2) 参加者

参加者の総数は四百十五人で、一市町並平均六・五人であった。地区別では、上越八十五人(二〇・五%)、中越二百四十二人(五八・三%)、下越八十八人(二二・二%)であり、役職別では、館長百三十九人(三三・五%)、主幹百二十八人(二四・六%)、運営委員百四十四人(三四・七%)、その他三十三人(八・一%)であった。

1、研修会的な性格を持たせたい。(二五)

2、大会は研修主体であるべきだ。(一七)

イ、活動の水準を高め、範囲を広げる時期だ。(六)

2、コミュニケーションを主眼に取り上げたことについて。

イ、公民館はコミュニケーションがかなり重要で、コミュニケーションづくりは急務だ。(八)

ウ、コミュニケーションは、今後の公民館活動を活発にする。(六)

ア、時宜を得た適切な主題であった。(一五)

3、一口大方式をとったことについて。

イ、内容不十分、時間不足で一日を程は無理だ。(一〇)

ウ、事前研修を取り入れたら、研修重点の運営で内容がすっきりした。(八)

4、三分科会構成について。

(一三)

△(一三)、△(一三)、×(一)

1、開催式、表彰式の運営について。

ウ、計画的に意図したものであったが現場では余り利用されなかった。(一一)

ア、事前研修資料として問題がはつきりし、討議に役立った。(九)

3、申込み責任者による受付業務について。(一四)

△(一四)、△(八)、×(三)

4、市町村の協賛率をもとにした分科会討議について。(六)

オ、その他(八)

1、開催式、表彰式の運営について。

ア、今後の大会運営の参考となり、新しい試みとして大変よかった。(枚村)

2、参加費等を事前送付したことによって、責任ある申し込み、参加を、よかった。(長岡市)

3、参加費の事前送付に公費支出しにくい面がある。(大島村)

(大会当日 9月24日)

1、開催式、表彰式の運営について。

ア、今後の活動の参考資料として使える。(一五)

イ、次の県大会、全国大会の参考として役立つ。(六)

2、討議内容の価値について。(一)

イ、問題点は浮きぼりにされたが解決には困難が予想され、今後の努力を痛感した。(一五)

ウ、討議の方向が明確でなかった。(八)

3、討議事項の処理について。(一)

イ、要項事項の処理は困難だが、広く長期にわたって運動を展開すべきだ。(一五)

ア、要求事項が明確になったのでその処理は速かに努力を進めるべきだ。(八)

4、大会の評価を組み合わせることについて。(一六)

△(一六)、△(九)、×(〇)

1、開催式、表彰式の運営について。

ア、今後の大会運営の参考となり、新しい試みとして大変よかった。(枚村)

2、参加費等を事前送付したことによって、責任ある申し込み、参加を、よかった。(長岡市)

3、参加費の事前送付に公費支出しにくい面がある。(大島村)

(大会当日 9月24日)

1、開催式、表彰式の運営について。

ア、今後の活動の参考資料として使える。(一五)

イ、次の県大会、全国大会の参考として役立つ。(六)

2、討議内容の価値について。(一)

イ、問題点は浮きぼりにされたが解決には困難が予想され、今後の努力を痛感した。(一五)

ウ、討議の方向が明確でなかった。(八)

3、討議事項の処理について。(一)

イ、要項事項の処理は困難だが、広く長期にわたって運動を展開すべきだ。(一五)

ア、要求事項が明確になったのでその処理は速かに努力を進めるべきだ。(八)

4、大会の評価を組み合わせることについて。(一六)

△(一六)、△(九)、×(〇)

1、開催式、表彰式の運営について。

# 都市分科会

## 問題提起

。今までの実践から感ずるところは、指導者は従成栽培ではできなかった。青年団青年として、壮年は壮年としての学習の場が前段階で必要であり醸成されなければならぬ。国連のCD(社会開発)10大案の5に地域社会の指導者の発見、養成訓練がある。また、相隣りの地区においてはその通りであった。

(2) 地域の課題の明確化にあった。国連のCDの第一項

抄録  
 地域社会における健全な公民館を教育する公民館活動が、コミュニティーづくりにおいて一番大切だと思ふ。  
 コミュニティーセンターへ公民館の活動の分野は一体であると考え、コミュニティーづくりの核の中で、教育という面から公民館活動が必要であり、公民館活動はコミュニティーづくりの成否の鍵である。

## 全体討議

(5) CDの7条の中に「中々の幅広い援助が必要である」とある。柏崎市では幾つかのコミュニティーセンターがあり、地域作り、コミュニティー作りの気運の盛り上げは、行政の影響が大きく、また刺激となっている。行政とは社会教育であるかという言葉はないのであろうか。  
 コミュニティーづくり果たす公民館の役割

(4) 学校の存在が、子供の教育に関するコンセンサスを奪うなどの懸念も、教育の面を有し、社会教育における学校の占める位置は、  
 赤美した公民館活動のないところにコミュニティーづくりは成功しない。  
 日本が将来に向かって健全に発展するには、地方都市の健全な発展がなければならないし、地方都市の健全な発展は、コミュニティーづくりと公民館活動の振興にかかっている。

## 市民意識の低いところ

住民意識の低いところは低くなり、望ましい方向に住民が進んでいるところでは、それに応じた方策がある筈だと思ふ。これが公と民を結びつける役割だと思ふ。

市民意識の低いところ、住民の意識の低いところ、望ましい方向に住民が進んでいるところでは、それに応じた方策がある筈だと思ふ。これが公と民を結びつける役割だと思ふ。

## 地域に動きかけるか

地域に動きかけるか、地域住民の声を基にして行政的に力添えをするか、二つに一つである。

地域に動きかけるか、地域住民の声を基にして行政的に力添えをするか、二つに一つである。

## 公民館で作成した資料や

公民館で作成した資料や、文芸作品集または報章などを、感送くたいと思ふか、県内の皆さんへも紹介してまいりたいと思ふ。

公民館で作成した資料や、文芸作品集または報章などを、感送くたいと思ふか、県内の皆さんへも紹介してまいりたいと思ふ。

## 投稿歓迎

投稿歓迎  
 感想文も結構、折にかれて気持よく走り回らせてください。新聞文には短評を差し上げておきます。

投稿歓迎  
 感想文も結構、折にかれて気持よく走り回らせてください。新聞文には短評を差し上げておきます。

# 都市近郊分科会

## 問題提起

(1) 定住の住民と定住の住民との心の調和をはかり、コミュニティー意識を生み出すにはどうしたらよいか。  
 (2) 二重二重をコミュニティーづくりの転化させるか。  
 (3) 住民主体のコミュニティーセンター運営の意識を、どの程度まで醸成したらよいか。

定住の住民と定住の住民との心の調和をはかり、コミュニティー意識を生み出すにはどうしたらよいか。  
 二重二重をコミュニティーづくりの転化させるか。  
 住民主体のコミュニティーセンター運営の意識を、どの程度まで醸成したらよいか。

## 全体討議

公民館活動の目的は、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化をどうして、コミュニティーづくりをすすめるか(西町)

公民館活動の目的は、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化をどうして、コミュニティーづくりをすすめるか(西町)

公民館活動の目的は、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化をどうして、コミュニティーづくりをすすめるか(西町)



公民館で作成した資料や、文芸作品集または報章などを、感送くたいと思ふか、県内の皆さんへも紹介してまいりたいと思ふ。

# 第 27 回 新潟県

## 農山漁村分科会

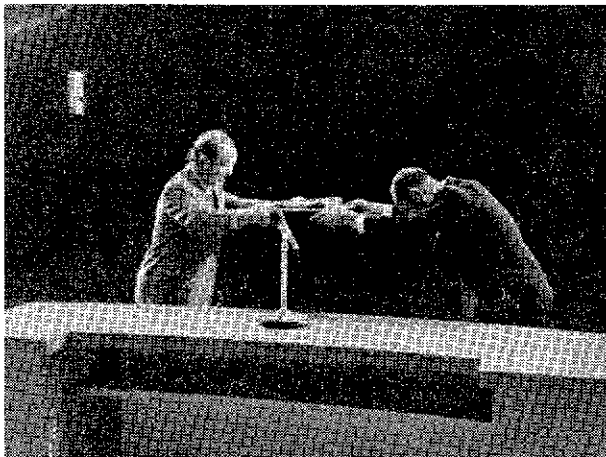
### 問題提起

(1) コミュニティづくりの発展に

き「意識」による年  
際りと若年層の参加  
ができる。また地  
域全体に通知がと  
れず、コミュニティ  
づくりがうまく  
ゆかない。

### 実践事例

だれでも気軽に参加ができるよ  
うな行事を住民の意見を聞いて行  
う。昔からの行事を復活させる  
のも一つの方向である。広報の活  
活に余裕がない。  
用、老人会、婦人会、青年会等の  
そんな中での文化  
連帯感、連絡を密にし身近な情報  
活動への参加はま  
をキヤッチしやすくする。施設、設  
備の整備をより活用しやすくす  
ばらでありどう配



〔大会旗は柏崎市中央公民館近藤館長か  
ら県公連石井会長に引き継がれた。〕

### 役割

公民館はコミュニティづくりの中核であ  
る。社会教育活動の中核であ  
り、住民学習活動の推進役を住民  
の生活課題の解決をめざす。コミュ  
ニティセンターへどうもつて人  
を多く集めるかより、住民に自主  
的に活動する意識を育てることも  
重要である。コミュニティ活動であ  
る。〔司会〕 その他会体的に朝から  
にしたい点をグループごとに討議  
してもらう。  
一、青年の文化活動への参加に  
ついでの実例。  
一、公民館活動とコミュニティの  
役割について、具体的に、  
三、「まちづくり」意識の強  
い理由について。  
四、コミュニティの指定と公民館  
の従来の設置関係について。  
五、センターの建設と運営の公費  
と地域自治体の関係について。  
六、職員との関係について。  
以上の発言の回答として  
〔佐藤主事〕、中籠石地区では、  
住民の声を聞き公民館、コミュニ  
ティの推進は両立している。  
〔植木館長〕、公民館活動は個人  
の問題を学習する場であり、地域  
の問題解決とはちがってくる。  
〔佐藤主事〕、新しい地域づくり  
として従来の公民館活動をこえ  
た、実践活動が生まれコミュニ  
ティの必要性が生まれた。コミュニ  
ティ運動の概念として、自主性  
と責任を自覚した者が、より構成  
し、地域の課題を解決してゆくへ  
公民館は住民とのパイプ役になり  
運営を援助している。  
〔司会〕より植木館長の意見をま  
め、コミュニティとは多少誤解は  
あるが、町内会や部落会のように  
住民が主体制を持って行政当局に  
要望する意志の衰れである。公民  
館もコミュニティも社会法に基  
中立的な立場で活動している。  
〔桑原助言者〕、コミュニティと  
は住民より郷土を作るため、いま  
までの地域を存続したいという願  
や新しい生活をとり入れたいとい  
う願いに住民が、どう参加する  
かという形態である。その中で教育  
的な分野の学習を通して、中核的

な役割を果たすのが公民館活動であ  
る。  
〔内閣〕、参加者の集まりはまち  
〔植木館長〕、壮年層をのぞきだ  
したい集まりは、地域的には  
遠い部署の方が参加者が少ない。  
〔佐藤主事〕、柏崎市では十九の  
公民館があるが、距離的に住民が  
参加しやすいとはいきまず、現  
在では二十四ヶ所のコミュニティ  
センター建設の計画があり、すで  
に四ヶ所で活動している。  
〔司会〕、青年の文化活動への  
参加について発言願う。  
本神村では青年講座、学校等開  
いているが、参加者は少なく進歩

盛の重なりが問われている。特に  
山村地においては結婚問題が、深  
刻である。佐藤赤沼の場合も青壮  
年の参加は少ない、しかしいくら  
少なくとも公民館は、住民学習活  
動を行なわなければならないので  
どのようにしていかか。  
〔桑原助言者〕、公民館の活動は  
学習や講座だけでなく、住民の自  
覚を「われらが公民館」という意  
識を持たせ、自己自覚をうながす  
ためコミュニティが必要となっ  
た。財政面においても地元住民の  
拡大されたたわれ意識による地域  
に必要なだけでなく、金の出方  
も変ってくる。地域を愛する気持  
を持って行へるのがコミュニティ

公民館活動とコミュニティの役割について、具体的に、三、「まちづくり」意識の強い理由について。四、コミュニティの指定と公民館の従来の設置関係について。五、センターの建設と運営の公費と地域自治体の関係について。六、職員との関係について。以上の発言の回答として	〔佐藤主事〕、中籠石地区では、住民の声を聞き公民館、コミュニティの推進は両立している。〔植木館長〕、公民館活動は個人の問題を学習する場であり、地域の問題解決とはちがってくる。〔佐藤主事〕、新しい地域づくりとして従来の公民館活動をこえた、実践活動が生まれコミュニティの必要性が生まれた。コミュニティ運動の概念として、自主性と責任を自覚した者が、より構成し、地域の課題を解決してゆくへ公民館は住民とのパイプ役になり運営を援助している。〔司会〕より植木館長の意見をまめ、コミュニティとは多少誤解はあるが、町内会や部落会のように住民が主体制を持って行政当局に要望する意志の衰れである。公民館もコミュニティも社会法に基中立的な立場で活動している。〔桑原助言者〕、コミュニティとは住民より郷土を作るため、いままでの地域を存続したいという願や新しい生活をとり入れたいという願いに住民が、どう参加するかという形態である。その中で教育的な分野の学習を通して、中核的	〔司会〕より植木館長の意見をまめ、コミュニティとは多少誤解はあるが、町内会や部落会のように住民が主体制を持って行政当局に要望する意志の衰れである。公民館もコミュニティも社会法に基中立的な立場で活動している。〔桑原助言者〕、コミュニティとは住民より郷土を作るため、いままでの地域を存続したいという願や新しい生活をとり入れたいという願いに住民が、どう参加するかという形態である。その中で教育的な分野の学習を通して、中核的
---	---	--

## 公民館の目的と理念

1. 公民館活動の基底は人間尊重精神の展開
2. 公民館活動の核心は生涯教育態勢の確立
3. 公民館活動の目標は住民自治能力の向上

「公民館のあるべき姿と今日的指標」より要約

# に 触 発 さ れ て

県大会に参加したのは今回が初めてではないが主眼にあった「公民館のコミュニケーション」を契機として、私には耳馴れな文句のゆえもあってか、非常に印象に残る大会であった。

また、市民会館や中央公民館、それに若く青少年センターの建物もさながら各地区に地区館と回数コミュニケーションセンターも建設計画中と聞いて、その組織の充実が、さすがに柏崎市には驚かされた。

わが町も公民館に



浜野 勝樹

大きなプラス

県公民館大会の一般評価表についての結果は四・五ページに紹介したが、これとは別に感想記を集めたので紹介する。いわゆる柏崎方式には、いろいろな意味で触発され、今後の公民館活動にとっては、勉強の機会を与えられてよかったとするものが大半であった。

(編集子)

「天と地のへだたりを感じさせられる。」

更に地区館の指導員制度が、ますます、私も地区館長の立場で、常々主張してきたことなのだが、私には耳馴れな文句のゆえもあってか、非常に印象に残る大会であった。

私の所属分科会が都市部であったが、テーブルテニスカッションでは、他市町村関係者の生の声も聞かせていただいたし、自分には大きなプラスの大会であった。

私が半日の日程を、かくも充実したものにしていただいた、大会関係者の皆さんには、改めてお礼申し上げた。

(新潟県柏崎地区館長)

「海防町地区館長」

教えられた

五十嵐秀太郎

今年度の県公民館大会は、前年度に柏崎市長さんのお話から参考者として参加したところから、事前研究もあつたし、来年度にいろいろ参考となる面があつたことも大きな成果であり、関係者の芳に謝したい。(十日町市公民館長)

「天と地のへだたりを感じさせられる。」

更に地区館の指導員制度が、ますます、私も地区館長の立場で、常々主張してきたことなのだが、私には耳馴れな文句のゆえもあってか、非常に印象に残る大会であった。

私の所属分科会が都市部であったが、テーブルテニスカッションでは、他市町村関係者の生の声も聞かせていただいたし、自分には大きなプラスの大会であった。

私が半日の日程を、かくも充実したものにしていただいた、大会関係者の皆さんには、改めてお礼申し上げた。

(新潟県柏崎地区館長)

今年度の県公民館大会は、前年度に柏崎市長さんのお話から参考者として参加したところから、事前研究もあつたし、来年度にいろいろ参考となる面があつたことも大きな成果であり、関係者の芳に謝したい。(十日町市公民館長)

## 画 期 的 な 運 営

### ● ● ● 啓 蒙 的 ・ 能 率 的 な 展 開 ● ● ●



小林 由 弘

「市長の話に納得」

今年度の県公民館大会は、前年度に柏崎市長さんのお話から参考者として参加したところから、事前研究もあつたし、来年度にいろいろ参考となる面があつたことも大きな成果であり、関係者の芳に謝したい。(十日町市公民館長)

今年度の県公民館大会は、前年度に柏崎市長さんのお話から参考者として参加したところから、事前研究もあつたし、来年度にいろいろ参考となる面があつたことも大きな成果であり、関係者の芳に謝したい。(十日町市公民館長)

今年度の県公民館大会は、前年度に柏崎市長さんのお話から参考者として参加したところから、事前研究もあつたし、来年度にいろいろ参考となる面があつたことも大きな成果であり、関係者の芳に謝したい。(十日町市公民館長)

今年度の県公民館大会は、前年度に柏崎市長さんのお話から参考者として参加したところから、事前研究もあつたし、来年度にいろいろ参考となる面があつたことも大きな成果であり、関係者の芳に謝したい。(十日町市公民館長)

「ふるさとづくり」進めたい

酒井 達 吉

「ふるさとづくり」が行なわれる。この意味で新しい「コミュニケーション」の形式は、地域の政策的な基本である。その新しい「ふるさとづくり」が、住民自治が生まれる、住民の意志と合意にもとづく新しい「ふるさとづくり」が行なわれる。この意味で新しい「コミュニケーション」の形式は、地域の政策的な基本である。その新しい「ふるさとづくり」が、住民自治が生まれる、住民の意志と合意にもとづく新しい「ふるさとづくり」が行なわれる。

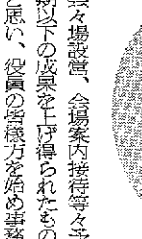
「ふるさとづくり」が、住民自治が生まれる、住民の意志と合意にもとづく新しい「ふるさとづくり」が行なわれる。この意味で新しい「コミュニケーション」の形式は、地域の政策的な基本である。その新しい「ふるさとづくり」が、住民自治が生まれる、住民の意志と合意にもとづく新しい「ふるさとづくり」が行なわれる。

「ふるさとづくり」進めたい

酒井 達 吉

「ふるさとづくり」が、住民自治が生まれる、住民の意志と合意にもとづく新しい「ふるさとづくり」が行なわれる。この意味で新しい「コミュニケーション」の形式は、地域の政策的な基本である。その新しい「ふるさとづくり」が、住民自治が生まれる、住民の意志と合意にもとづく新しい「ふるさとづくり」が行なわれる。

「ふるさとづくり」が、住民自治が生まれる、住民の意志と合意にもとづく新しい「ふるさとづくり」が行なわれる。この意味で新しい「コミュニケーション」の形式は、地域の政策的な基本である。その新しい「ふるさとづくり」が、住民自治が生まれる、住民の意志と合意にもとづく新しい「ふるさとづくり」が行なわれる。



酒井 達 吉



酒井 達 吉

# 県 公 民 館 大 会



分科会での活動

の時間をとり御一考を願えれば幸いです。  
(牧村正教指導員)

### コミュニケーションの原点

小林 淳

いまた分科会のテーブルの皆さんと話合っていると、また焦點がぼやけ公民館とコミュニケーション活動の接点はどこに置くのか、運営費の行政負担と住民負担はこれの良いのか、等々問題が残され、全体でもっと深く掘り下げて討議の時間がほしいままに時間を切れ、非常に残念でした。これからより以上の公民館活動を進めるためには、



「コミュニケーションの確立こそ、真の行政である」といわれた市長の自信に揺ちた城のお言葉の中に、明日の市民と共に、真のコミュニケーション形成をめざして一歩一歩着実に歩みを進めておられる松屋市中で、行われていたのです。家庭でもかかれた大会は、誠意を得た意識を高く同じことがいえるのではないかと、コミュニケーションづくりは、その深い大会で深く感銘を受けました。私の農山漁村村会委員は、車基盤である健全な家庭が確立されで二十分、国道沿いの、山崎石公るることが出来たらならぬのではないかと思っています。(長岡市中央選挙区)

### 具体策はなかつた

佐藤 五郎

第二十七回県公民館大会に参加して私が感じたことを簡潔書にしてみました。

一、コミュニケーションという言葉の意味が私だけでは大きく沢尻山の人達

二、従って公民館の役割としてコミュニケーションをしなければならないという大體わかつたがそれならば具体的に何を



とをしなければならぬのかというところは都市近郊分科会では殆んど論議されなかつたようでは私は大変失望した。

三、この大会を通じて私なりに考えさせられたことは私の町の従来の公民館活動には地域住民の生活への介入の行事をやっている運賃がない。

四、大会運営上の問題だが折角の会場の大きさをこの大会であり、しかも参加者の研修も今年の大会の大きさをこの大会として

分科会報告全体討議中央の権威者の講演等を加えてはしなかつた。(小須吉町中央選挙区)

### 【テーブルでのバスセッション】方式で能率のよい分科会運営

### 月報素材で勉強

丸山 隆

四月から町の公民館長をひきまわす。やらなければならない仕事は山ほどあるが、何はさておいても一人を集めることが苦勞。人集めから始めなければならぬという話をしばしば聞かされる。またまた東郷町で「コミュニケーション意識調査」の一部が出ておつた。地域社会の交流を必要とする人が六〇％、どこからかといえれば必要と答えている人が三二％。



ちよつと甘いが、九一％の人が必要性を認めていると答えてよいのではないかと思われる。

ところが、現に参加している人は、となると全体の二二％にすぎない。一層は何するぞ……」で表現される東京のことである。誰かが号令をかけ、音頭をとってくれたら参加するという人が五

さて県公民館大会が松屋市中で開催されたが、開催レポートが月報で掲載されたので、その前の研究が出来る好評であった。

コミュニケーションの運営組織・維持・管理・施設等、非常に研究され、くふうされた進んだものを見た。聞いたので大変よい勉強になった。(山崎公民館長)

### 社教法の改正

小林 勝平

われわれの憩地の公民館は、個人・いけば、民間踊り・老人の集りとか、たまに講演会というような戸並の行事をやっている運賃がない。

「コミュニケーション」方式を受け入れるには、奥深く広い意義あるものと思われ、今後には社会教育法の改正も必要と思う。一その研究討議が望まれる。(十日町市水沢地区分館長)

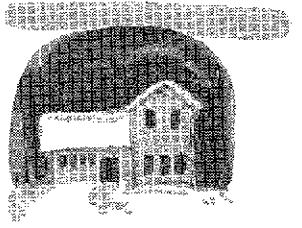


### 再考させられる

塚本 三栄

新しい酒は新しい皮袋に、時と共に変化進展して行く社会情勢、それに伴いつつ修練して先を歩まねばならぬ公民館。この公民館のコミュニケーションづくりに関するこの大会が、このことについて早く取り組む「柏崎方式」なるものを立ち上げて着々と成果をあげていくのが、柏崎市の実績発表、続いて討議、と公は決められたのであるが、残念ながら時間が足りなかつた。(前もって質問事項や問題点を掘り出すために、昼食を食卓にしてその間に無言の諷刺を交すような運営に苦心されて短時間のわりに成果が上り期待通り成功であったと思つたけれど)問題は大きかつたわけにとどこか語り合つたというわけにはいかなかつたように思う。次に申し込み期日に、二日あつたため参加が断られてしまったという人が案外多かつた。(会場には余裕があつた)。会場には余裕があつた。決断の処理について「従来のそれと手始めから強力に有効に処理して欲しい」という声に多い拍手があつたことを暗記する。それだけでも公民館のあり方を再考させるよい会であつた。(頸城公民館長)

# あの頃のこと



## 僻地の生活

俵山喜秋

### 筆者紹介



筆者は本文中にあるように小千谷市の僻地で育ち、長年教育生活を経て、校長職を最後に退職、以後小千谷市公民館長を数期にわたって務め、先年退任された。この間、宮城二の主宰する短歌誌「コスモス」同人として活躍し、歌人として知られている。現在も小千谷短歌主宰として活躍中。

### 公民館関係法令集

内容・教育基本法・社会教育法・社会教育施行令・公民館運営設置基準・通達「公民館基準の取り扱いについて」  
A5版、34ページ  
一部二五〇円送料別  
公民館関係の諸会議にご使用ください。  
申先宛・県公連事務局

### あとがき

県公民館大会のアンタテーケアも大切と思ひ、大会の評判表の集計結果、分科会記録等、できる限り載せてみました。そのため「実感記録シリーズ」は残念ながら休載せざるを得ませんでした。この実感記録はいよいよ好評ですので次年度からは趣向を少し変えて、優秀な作を表彰するというような方向で検討中です。  
いよいよ越後の越後たけしのていつの雲の季節がやってまいります。備えを疎くして、逆に入りに雪とともに苦果をともにしようではありませんか。  
(次)

今から六十一年前、私は小千谷から分科会を離れた冬井という山村の分校に任じていた。父は分校の教師で、児童数は三十名余り、単級単式の過僻地校であった。住宅といつて別に無く、この分校の八畳の宿直室が、父母と私とち兄弟三名の住居なのだ。父はこゝに十二年間勤務し、酒で退職するまで日校務々としてその経理に当たった。

私はこの分校で小学校を卒業、隣村の高等科に通い、やがて師範を卒業するまで暮したが、この山村の生活が私の詩歌の芽を育んでくれたのである。  
こゝは郡境の移住を主事とする向山と、背後の縦斜面をなす大倉山との谷間に、三十数戸の農家が点在して、春夏秋冬の眺めは平凡ながら人情に厚い平和な風景であった。父はこの部落の数少ない知識人の一人として学校教育は勿論、今で言う社会教育面をも一手に引き受け活動した。中でも父が最も力を入れたものに青年会の育成がある。

### 研修テキスト

## 公民館経営ハンドブック<4分冊>

日常出版株式会社

監修者 湯上二郎 著者 湯上二郎  
著者 新界実務家・学者  
18氏による共同執筆

刊行予定 昭和51年11月一限定版・予約受付中一

A5判・4冊セット(函入) 定価3,000円

送料120円

各冊・定価800円

送料120円

現代公民館研究会/編

### ●主な目次と執筆者

#### 第1分冊 公民館の使命と組織

- 1 生涯教育と公民館 湯上二郎
- 2 公民館の歴史 安原昇
- 3 コミュニエィの形式と公民館の役割 湯上二郎
- 4 館長と主事の職務 吉瀬純一
- 5 公民館運営審議会の運営 光安常喜

#### 第2分冊 公民館の経営と管理

- 1 公民館と法律問題 伊藤俊夫
- 2 公民館の設計と施設管理 林健生
- 3 公民館の予算編成と経理 西ヶ谷悟博
- 4 公民館経営の診断 朝比奈博
- 5 図書館や博物館との連携 佐々木実

#### 第3分冊 公民館活動の企画

- 1 公民館活動の立案 安原昇
- 2 公民館活動の評価 岡本包治
- 3 公民館調査の進め方 渡辺博史
- 4 公民館広報の着眼点 矢端直一
- 5 クラブ・サークルの育成 樋上亮一

#### 第4分冊 公民館活動の展開

- 1 学級・講座の開設と運営 春日英明
- 2 集会・行事の企画と運営 楠谷忠洋
- 3 図書室の利用と相談事業 中島俊教
- 4 視聴覚教育の技法 宮本一
- 5 体育・レクリエーション活動

日本レクリエーション協会

※各分冊ごとに……

- ①公民館質問箱 ②公民館関係文献の解題と要録
- 巻末に①公民館年表 ②索引を掲載県公連であっせん